

材の検討と導入、各養殖工程における作業の省力化などに生産者と連携して取り組み、高品質なカキを生産できるシステムの構築に向けて支援します。

近年における本町の農業は、国際貿易交渉の大きな進展による関税の引き下げや撤廃への懸念、担い手不足による離農、農業従事者の減少など、厳しい状況にあります。

このような中、新規就農の状況は、現在1件が2019年度の就農に向け町内農家で研修を受けており、今後も担い手確保の取り組みを関係機関と一体となって進めます。

農業生産基盤については、良質な粗飼料確保のため、釧路太田東部と釧路太田西部の2地区において、道営事業による草地整備事業が継続実施されることとなっています。

また、釧路太田農業協同組合が実施する育成牛預託施設等の整備や、浜中町農業協同組合がトライベツ地区に整備した搾乳牧場で使用する作業機械の導入、釧路太田畜産クラスター協議会で計画している牛舎の整備など、労働負担の軽減や飼養規模拡大の取り組みを支援します。

中山間地域等直接支払事業および多面的機能支払事業については、引き続き事業主体組織との連携を密にしなが、地域に根ざした効率的な事業展開を支援します。

性を生かして高い付加価値を創出したり、地域経済を牽引したりする事業者に対する国の支援策が受けられるよう、厚岸町商工会、金融機関などと連携して対応します。

観光については、北海道横断自動車道と釧路外環状道路の整備が進み道央圏などからの交通アクセスが向上したことや、釧路港へのクルーズ客船の寄港回数の増加、釧路空港と関西国際空港を結ぶ定期航空路線の本年8月の開設決定など、釧路地域における観光客の増加が期待できる環境が整ってきています。

本町の観光入込客数は、隣接する釧路町、浜中町との連携や町内産業経済団体と連携した道内外でのプロモーション、厚岸町公式キャラクター「うみえもん」を活用した観光・物



家畜防疫については、厚岸町家畜自衛防疫協議会など関係機関と連携し、家畜伝染病の発生予防のため、引き続き予防注射や衛生検査の支援のほか、農場周辺での消毒の徹底や関係者以外の立入制限など、飼養衛生管理の指導と啓発に努めます。特に、町内で流行している牛ウイルス性下痢病の対策としては、公共牧場への入牧の際に実施している遺伝子検査等を引き続き実施し、清浄化に努めます。

また、環境保全型農業を推進するため、バイオガスプラントによる家畜ふん尿の有効利用に向け関係機関と検討を進めており、町内酪農家の意向を踏まえた持続的発展に資する施設整備に向け、引き続き検討します。



産イベントでの積極的な情報発信などが功を奏し増加傾向にあります。春の『桜・牡蠣まつり』、初夏の『あやめまつり』、秋の『牡蠣まつり』を合わせ、一昨年の飛躍的な入り込み増を昨年度も維持するとともに、道央圏ナンバーの乗用車の入り込みが目立って増え、町内経済に少なからず寄与しているものと考えています。

本年度においても、一層の誘客を図るため、関係機関との連携を強化し、道内外での観光プロモーションやさまざまな情報媒体の活用により、本町の魅力である食や自然景観などの旬な話題を発信し、基幹産業である漁業や農業とも連携した観光産業の振興を進めます。

また、厚岸ウイスキーと地場産品を組み合わせた新しい観光資源の創出に向け、先行事例の研究など準備を進めます。

厚岸道立自然公園の国定公園化については、厚岸湖での将来的な漁業活動への影響を懸念する漁業者の不安を払拭するため、厚岸湖における公園内の地種区分の変更に向けた具体的な作業を進めており、北海道の手続きが進捗するよう、厚岸漁業協同組合などの関係機関・団体と調整しながら対応します。

厚岸味覚ターミナル・コンキリエについては、総合観光雑誌『北海道じゃらん』の道の駅ランキング・グ

町営牧場については、預託牛の適正な育成管理の下、牧場運営経費の節減と、一層の飼養管理技術の向上に努めます。本年度は、衛生管理の向上を図るための隔離牛舎のパドック建設などを行います。

町有林の整備については、安定的な事業量の確保により、林業労働者の雇用の安定を図るとともに、森林の多面的機能の発揮を図りつつ、持続可能な循環型林業を確立するため、計画的な森林施業を進めます。

私有林については、厚岸町森林組合と連携し、民有林振興対策事業および森林整備地域活動支援交付金事業を継続します。

林業担い手対策としては、林業作業員の育成および林業労働力の確保と就労の長期化・安定化を図るための支援を引き続き実施します。

町民の森植樹祭については、町民参加の森づくり事業として、本年度も支援します。

また、森林資源の利活用については、木質バイオマスの活用に関する検討を行うとともに、町有林の林地残材を堆肥センターの水分調整材などに活用する事業を継続実施します。

きのこ菌床センターについては、良質な菌床の安定供給に努めるとともに、厚岸町菌床きのこ生産団体の支援や菌床価格の軽減措置を継続し、生産者の経営基盤の強化に向けて取



ルメ部門で全道119駅で7年連続1位を獲得するなど、本町の観光中核拠点施設としての役割を果たしてきました。オイスターボール・ピトレスクの改修とグラントオーブンやマスメディアでの情報発信、道内外での誘客活動が功を奏し、入館者・売上ともに伸び、2017年度は過去最高となる見込みです。

本年度は、電動アシスト自転車による町内周遊案内を行い、厚岸ならではのサイクルツーリズムに取り組みむとともに、昨年度、道外客の応募もあつた厚岸蒸溜所見学ツアーの充実を図り、地域おこし協力隊員による新たな体験観光メニューの開発や、地場食材と厚岸ウイスキー・ニューボーンの組み合わせによる新しい食



り組みます。

また、精力的に活動を行う地域おこし協力隊員とともに、上尾幌産したけのブランド化や販路拡大に向けた取り組みを活性化させ、生産者とともに持続的なきのこ産業の育成・振興に努めます。

本町の商工業を取り巻く環境は、人口減少による購買力の減退や水産加工用原魚の減少などにより依然として厳しい状況にあり、地域経済の活性化が喫緊の課題です。

こうした状況を踏まえ、昨年度に町内事業者が借り入れる設備投資や運転資金に対して、町が保証料補助や利子補給を拡充したことで融資件数と融資額が増えており、引き続き支援を継続します。また、地域の特

の提供を行います。

また、国の認定を受けた外国人観光客通訳支援施設を生かしたインバウンド観光への対応も進めます。

さらに、国道沿いに設置している本施設の案内看板の一部は、老朽化が著しいため、見やすさを重視した内容に変更し改修します。

そのほか、子野日公園駐車場付近の外構の改修、愛冠野営場トイレの簡易水洗化および洋式化の改修などを行い、観光施設の魅力向上に努めます。

雇用については、町ホームページなどによる町内の求人情報の一元化、ハローワークと連携した求職・求人情報の提供サービスを継続するとともに、厚岸町雇用対策連絡会議を通じて町内の各企業、団体と新規採用など雇用対策に関する情報の共有に努めます。

**やさしさをあふれ健やかに
安心して暮らせるまちづくり**

子育て支援については、私の5期目の公約においても、また『厚岸町未来創生総合戦略』においても、重点施策の一つとしており、厚岸町の将来を担う大事な子どもを安心して産み育てられるまちづくりを目指します。

耐震性の問題がある真竜保育所と宮園保育所を統合した湖北地区の保